

Over Drive Japan

1. 日本国内向け児童・高学年向け電子図書 12,000 タイトル

2. 費用について

初年度 約 57 万 5 千円 **次年度** 約 40 万円

立上げ費用：10 万円（税抜き）

月額運用費：12 万円（12 か月税抜き）

コンテンツ購入費：20～30 万円（予算による）

平均単価は 2000 円から 2500 円（タイトルごとに価格は異なる）

目安：30 万で約 120 タイトル

※年度内（21 年 3 月末まで）の契約について、【電子図書館緊急導入キャンペーン中】で立上げ費用と月額費が無料。次年度からは、月額運用費とコンテンツ購入費 20 万～30 万円算に合わせる形で年間購入最下限：20 万円保証）となる。

※ワンコピー・ワンユーザー型：原則有効期間 2 年もしくは貸出 52 回までの制限付き

※1 冊の本を 2 年間または 52 回の貸出可能で、その 1 冊は 1 度一人貸出のみ

100 タイトル（冊）40 万円（TRC-DL コンテンツの平均単価：4000 円）

※ワンコピー・マルチユーザー型：原則ライセンス期限なし、貸出回数無制限のものを含むコンテンツ、1～3 ライセンス版、1 冊の本を大勢に貸出可能（コンテンツによる）、希望のコンテンツを掲示し、出版社と交渉（日本語でのタイトルはほとんど対応していない）。

3. 利用可能人数

制限なし（在籍される児童生徒全員）

4. 海外からのアクセス

可能。契約は日本国内 Madia D0 経由 OverDrive 社となる。日本国内と海外の契約では和書の数異なる。

※本校経由が良い：日本国内に法人本部があり、実際の運営を海外で行う事例は過去にもあり、問題ない

5. 契約から利用までにかかる日数

2～3 週間を目途。タイトルの選定に時間がかかることが想定されるので、予め 30 タイトルぐらいは選んでおいた方がよい。

6. 利用規約より抜粋 西大和学園の規約は別途作成

2.2 OverDrive と Media Do は、学校アカウント及び学校アカウントが許可する児童生徒、従業員、教員、などのユーザに対して、それぞれの供給元からの個人的、非営利的利用のためのデジタルコンテンツを譲渡不可及び転写不可で、制限されたライセンスとして許可します。ユーザもしくは学校アカウントは以下の条件においてデジタルコンテンツにアクセスもしくはダウンロードすることができます。

(1)排他的且つ個別ユーザに固有のアカウントを有する学校支給のデバイス又はコンピューター

(2)各デバイスが一度に一人の児童生徒に割り当てられ又は貸し出される、「ユーザ 1 人にデバイス 1 台のプログラム」に基づいて児童生徒に供与される学校支給の共有デバイス

(3)直接、ユーザ個人のデバイス

(4)個々の児童生徒が利用した後に、コンピューターを元のコンフィギュレーションに戻すアプリケーション(例: Deep Freeze, Windows SteadyState、又はその他同様のアプリケーション)を採用している学校、教室又はメディアセンター共有の装置。

2.4 学校アカウントは、日本で承認されたユーザの SDL サービスへのアクセス制限について、OverDrive と Media Do に協力するものとします。学校アカウントがユーザ以外に SDL サービスへの権限を付与したい場合、OverDrive と Media Do は出版社が許諾する範囲内で特定のデジタルコンテンツの限定的な利用を許容する権利を有します。別の方法で日本において会員としての資格を有さないユーザに、一時的もしくは永続的な SDL サービスへのアクセス権を供給するようなオンライン図書館カードの申し込みは、有料または無料を問わず、許可することはできません。

School e-Library

1. 電子図書数

指定なし 1,000 タイトル

定期的に掲載電子書籍の入替あり。それぞれの電子書籍は原則3か月から6ヵ月間掲載。掲載期間は書籍情報欄に掲示

2. 費用

基本的に保護者に料金を請求しない(?)

基本契約(日本): 28,000円(税込) 41ライセンス/1年間 ※ライセンス=アカウントの数

基本契約(米国): 36,000円 10ライセンス/1年間(最小10アカウント)

※何月からでも契約可能。契約月から1年間使用可能。「年度末まで」等の1年以下の契約はなし。

追加契約:

(日本国内) 3,750円(税込) 5ライセンス/1年間 7,500円(税込) 10ライセンス/1年間

※基本契約の41ライセンス以上必要な場合の契約。追加契約のみの契約はない。

3. 利用可能人数・契約対象

生徒・職員(父母、個人契約はない)

セキュリティの問題から海外用のサービスでは提供を予定していない

個人利用: 特定のアカウントを特定の児童・生徒に貸与する契約

※共有利用の場合、ログオフ時点で利用履歴は全て消去

4. 海外からのアクセス

海外での著作権使用料、時差に対応し24時間のサービス提供になるため海外版は、国内版より料金が高くなります。また、掲載書籍1000冊も著作権の関係で国内版とは異なります。年内に海外子女教育振興財団を通じて告知する予定です。著作権の問題で掲載書籍は現在国内でサービスを行っている1000冊とは一部異なるが、日本語の掲載書籍数は1000冊である。

5. 契約から利用までにかかる日数

国内法人と海外法人におけるご利用であれば、事務局で申込書を受信後3~4日でID/PWのエクセルデータが送られてくる。順調にいけば、12月中のサービス開始予定とのこと(海外の小中高校生へのクリスマスプレゼントになればよいと考えております)

6. 利用時間: 24時間(海外対応)

7. アカウントの特性

1つのアカウントでアクセスできる人数は1名まで。1つのアカウントで誰かが先にアクセスしている場合、他の人は同一のアカウントではアクセス不可。

どのデバイスでアクセスされたとしても同時に接続できる台数は1台です。

アカウントがコピーされて、違法に使用されている疑いがある場合は、利用者にご連絡し、IDとパスワードの変更をいたします。アカウントがコピーされて、違法に使用されている疑いがある場合は、利用者にご連絡し、IDとパスワードの変更をいたします。) 正当な人が利用している時に権利のない人がアクセスすると正当な利用者が使えなくなりますので、再度、正当な利用者はアクセスして、不正利用者を追い出すようにしてもらいわけですが、この運用ができなくなった場合、事務局にご連絡頂き、ご利用中のID/PWを停止し、新しいID/PWを発行します。※個人アカウントでは本人が外部者に漏らさない限りは必要ない情報になります。

※学校内で使用するタブレットやPC、生徒やその家族のスマホ、タブレット、PCを想定しているため、デバイスの数は相当数対応できるようにしています。

学校でルールを決めて運用していただいておりますが、生徒が友人、知人に不用意に ID と PW を教えてしまったような場合、正規利用者が利用できなくなることが頻発したり、あまりにも多くのデバイスからアクセスされていると不正利用とみなすことになります。

共有利用の場合：「後勝ち方式」で運用していただいております。正当な利用権利者がアクセスしている時に、利用権利のない不正利用者が後から同じ ID にアクセスした場合、後でアクセスした人がつながり、先に利用していた正当な利用権利者が追い出されます。正当な利用者は不正利用者がアクセスしたために、追い出されたので再度アクセスしていただきます。今度は、不正利用者が追い出されますが、この段階で不正利用者は、正当な利用者がアクセスしたと認識し再度のアクセスは控えてもらいます。（事前の紳士協定であると校内で伝えてもらっています。

8. その他

データの取り出し：学校側でデータの取り出しはできませんが、ご契約後は、事務局より毎月半ばごろに前月分のログデータをご提供しております。通常ご提供しているログデータでは、アクション数(サイト内でクリックされた回数)とページビュー(本を何回開いたか)を、ID 毎にお出ししております。開いた本の書誌名と回数は、総数をお出ししており、ID 毎ではお出ししておりません。年度末のアカウント情報のリセットは可能です。新しい ID/PW を発行し、1 か月後に前年度のアカウントを停止いたします。（一か月間は新旧両方のアカウントがご利用いただけます。）School e-Library 体験版 ID/PW（利用時間は日本時間の午前 5 時から午後 10 時（米国午後 1 時から翌午前 6 時））の発行あり

サイトの URL：<https://www.s-elibrary.com/>

TRC-DL & LibrariE

1. 児童書の冊数（絵本を含む）

約 4000 タイトルほど

2. 費用

初年度 **初年度 88 万円**

立上げ費用：10 万円

月額利用サービス・クラウド利用権：6 万円（12 か月）

月額独自資料利用料：4 万 8 千円（12 か月）

100 タイトル（冊）28 万円（LibrariE コンテンツの平均単価：2800 円）

※ワンコピー・ワンユーザー型：原則有効期間 2 年もしくは貸出 52 回までの制限付き

※1 冊の本を 2 年間または 52 回の貸出可能で、その 1 冊は 1 度一人貸出のみ

100 タイトル（冊）40 万円（TRC-DL コンテンツの平均単価：4000 円）

※ワンコピー・マルチユーザー型：原則ライセンス期限なし、貸出回数無制限のものを含むコンテンツ、1～3 ライセンス版、1 冊の本を大勢に貸出可能（コンテンツによる）、希望のコンテンツを掲示し、出版社と交渉

次年度 **次年度 44 万 8 千円** ※800 人（平補）x \$ 5

月額利用サービス・クラウド利用権：6 万円（12 か月）

月額独自資料利用料：4 万 8 千円（12 か月）・50 タイトル（冊）：LibrariE 14 万円、TRC-DL 20 万円

3. 利用可能人数：

制限なし

※利用資格は在校生、教職員に限る（保護者不可）、100 でも 500 でも利用料は変動なし（学校側で利用登録時に利用資格を確認の上、電子図書館用 ID、パスワードを発行する）

4. 海外からのアクセス

LibrariE コンテンツ、TRC-DL コンテンツともに、日本国内ユーザー向けに許諾を受けているので、選書いただいたリストをもとに貴校への配信可否の確認を各出版社に対し行うひと手間発生する。よって、奈良の西大和学園中学校高等学校を法人として契約すれば、可否の確認が不要となる。

5. 契約から利用までにかかる日数：3 ヶ月（図書館システム連携版の場合、メーカーにより納期が異なる場合がある。タイトルの選定によってスムーズに進めることが出来る。

6. その他

利用者の追加は管理者画面から登録可能

契約ディスク容量 10GB がクラウド料金に含まれる